

第96期 第2四半期 株主通信

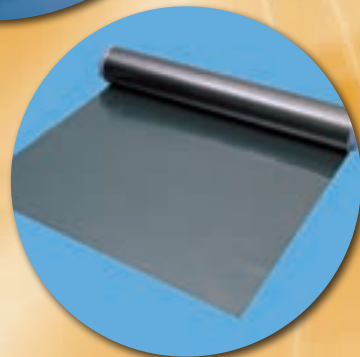
平成27年1月1日から平成27年6月30日



真心を包み、幸せを守り、技術を進化させる

大倉工業株式会社

証券コード 4221





代表取締役社長
高濱 和則

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

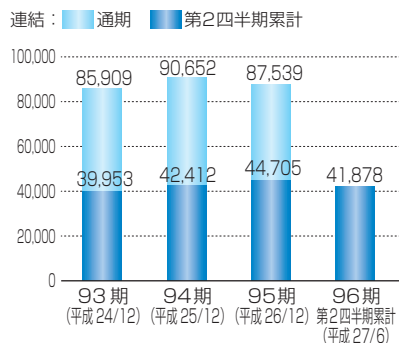
「第2四半期株主通信」を皆様にお届けするにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や設備投資の増加、個人消費の底入れや外国人観光客の増加などによって企業収益が過去最高水準を記録するなど、引き続き緩やかな回復基調を続けてまいりました。しかし、原材料価格の上昇や天候不順に加え、ギリシャの過剰債務問題や中国経済の減速懸念といった不透明要因が出現し、景気回復の先行きには次第に薄雲が広がりつつある状況ともなっております。

このような状況のもと、当社グループでは合成樹脂事業や新規材料事業において、天候不順や光学フィルム

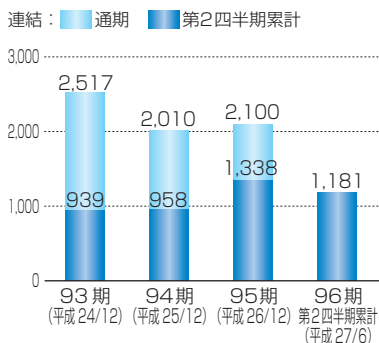
売上高の推移

(単位:百万円)



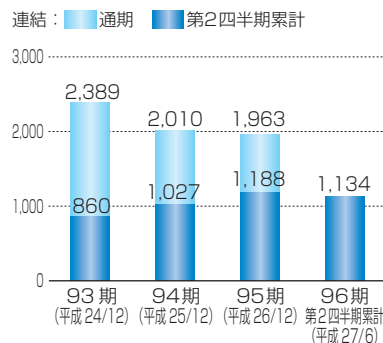
営業利益の推移

(単位:百万円)



経常利益の推移

(単位:百万円)



の新製品での認定遅延の影響を受けたため、当第2四半期連結累計期間の売上高は418億7千8百万円と前年同四半期比6.3%の減収となりました。

利益面では、新規材料事業における新工場立ち上げ費用の増加などにより、営業利益は11億8千1百万円(前年同四半期比11.7%減)経常利益は11億3千4百万円(前年同四半期比4.6%減)となりました。四半期純利益は固定資産除売却損が減少したため、7億5千2百万円と前年同四半期比13.2%の増益となりました。

当社グループは第四次中期経営計画最終年の本年を次期経営計画の礎の年と捉え様々な課題解決に取り組んでおります。合成

樹脂事業は「量の拡大」の追求と不採算事業・製品の再構築を図り、新規材料事業は光学フィルム市場での高度な要求品質に応えられる「質」の追求と既投資案件を早期に軌道にのせてまいります。

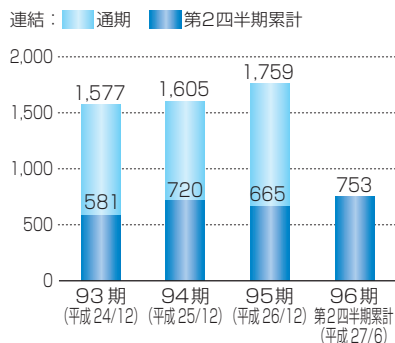
建材事業においてはパーティクルボードの拡販と建装材事業の構造改革により営業黒字を確かなものに致します。また新製品開発では伸長が期待される分野に向けて、着実に開発を進め、事業化へつなげていきます。

株主の皆様におかれましては今後とも変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年9月

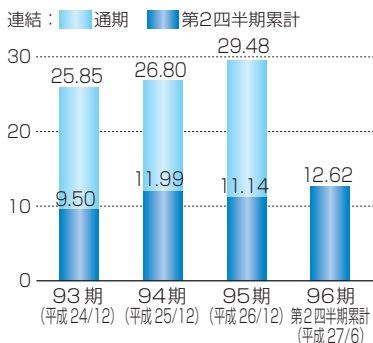
純利益の推移

(単位:百万円)

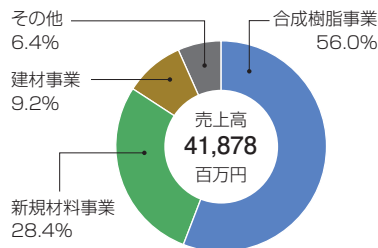


1株当たりの純利益の推移

(単位:円)



事業別第2四半期累計売上高構成比(連結)



※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第2四半期累計期間事業別概況(連結)

合成樹脂 事業



天候不順の影響が重なった農業向けフィルムをはじめ、電子材料保護フィルムなどの販売数量が減少したため、売上高は234億4千3百万円(前年同四半期比7.0%減)となりました。

営業利益は、原材料費が一時的に下がったうえに、コスト削減にも努めた結果、15億8千1百万円(前年同四半期比27.9%増)となりました。

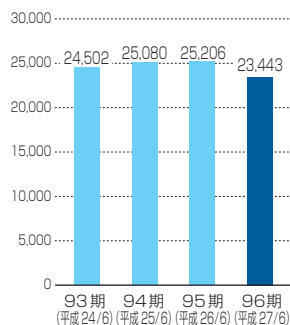
新規材料 事業



光学フィルムの新製品での認定取得が当第3四半期にすれ込んだため、売上高は119億4百万円(前年同四半期比7.1%減)となりました。営業利益は前年11月に生産を開始した新工場の本格稼働に向けた諸課題の解決に一応の目途をつけるために半年強を要したため1億5千3百万円(前年同四半期比79.8%減)となりました。

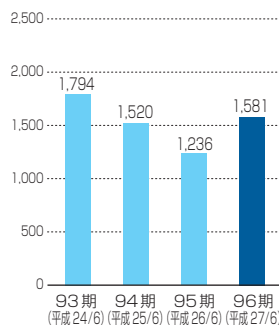
売上高の推移

(単位:百万円)



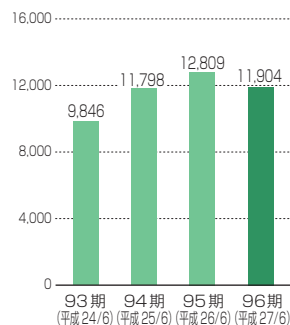
営業利益の推移

(単位:百万円)



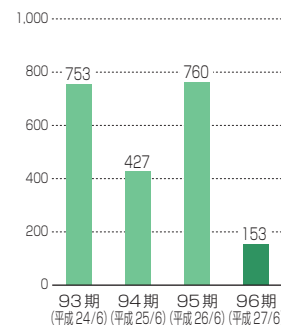
売上高の推移

(単位:百万円)



営業利益の推移

(単位:百万円)



建材事業



パーティクルボードの販売数量は若干増やすことができたものの、それ以外の製品の販売が減少したため、売上高は38億5千1百万円(前年同四半期比0.1%減)となりました。営業利益は固定費の削減と生産性の向上により、4千万円(前年同四半期は営業損失3千7百万円)となりました。

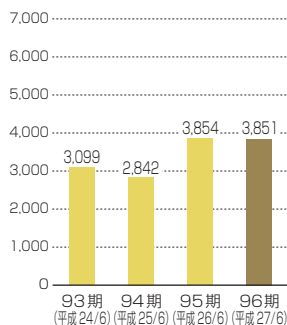
その他



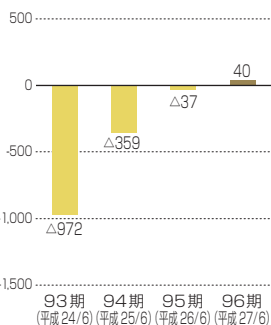
木材加工(プレカット)事業並びに宅地造成及び建物建築事業の売上が減少したため、売上高は26億7千9百万円(前年同四半期比5.5%減)となりました。営業利益は個別貸倒引当金を4千7百万円積み増したため、1億5千1百万円(前年同四半期比17.9%減)となりました。

売上高の推移

(単位:百万円)

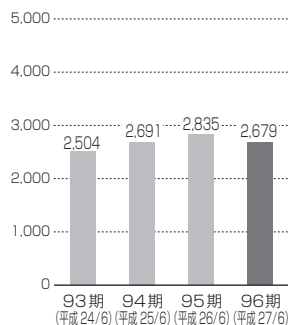


営業利益(損失)の推移 (単位:百万円)



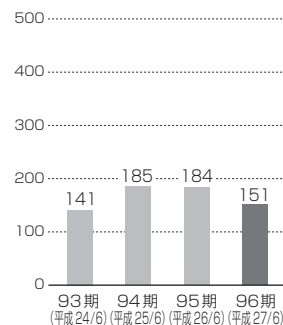
売上高の推移

(単位:百万円)



営業利益の推移

(単位:百万円)



※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

当社グループは様々な分野にソリューションを提供していますが、今回は脱ポリ塩化ビニル対応のポリブチレンテレフタレート(PBT)フィルムと建材事業部で行っている竹資源の有効活用についての研究についてご紹介致します。

脱ポリ塩化ビニル(PVC)対応のポリブチレンテレフタレート(PBT)フィルム(合成樹脂事業部)

PVCは安価で加工しやすい素材であり、生活必需品として幅広く使用されています。しかし、焼却時に発生するダイオキシン問題や有害な塩素ガスの問題、残留モノマーなどの問題で、PVCに代わる素材が求められ、各産業分野で脱PVC化が急速に図られてきました。こうした背景の中で当社は、エンジニアリングプラスチックの一つであるPBTの耐熱性、成型性に着目し、厚さ20~250 μ mのフィルム化に成功しました。

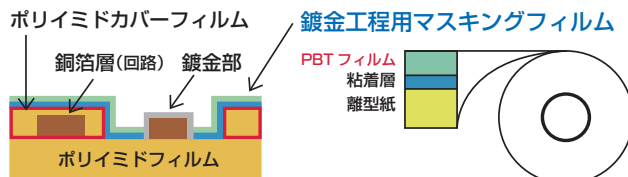
次の特長を有したフィルムは、内装建具、ユニットバス壁用などの化粧用途、電子回路製造時の鍍金工程等に広く採用されています。幅広い用途で様々な生活シーンでの採用が期待されています。



▲ユニットバス壁用に使用されたPBTフィルム

PBTフィルムの特長

- 1 **耐熱性**
150℃の雰囲気下での連続使用が可能
熱寸法安定性に優れる(150℃×30minで収縮率1%以下)
- 2 **機械特性**
延展性を有するため絞り成型が可能
- 3 **耐薬品性**
薬品に対して耐性が優れている(強アルカリ除く)
- 4 **表面形状の自由度(加飾性)**
高温に加熱しても表面のエンボス形状が変化し難い
- 5 **低汚染性**
高温下でのアウトガスがほとんど発生しない
- 6 **UL規格RTI(140℃)の登録済み**(商品名:ESR2)



▲鍍金工程に使用されたPBTフィルム

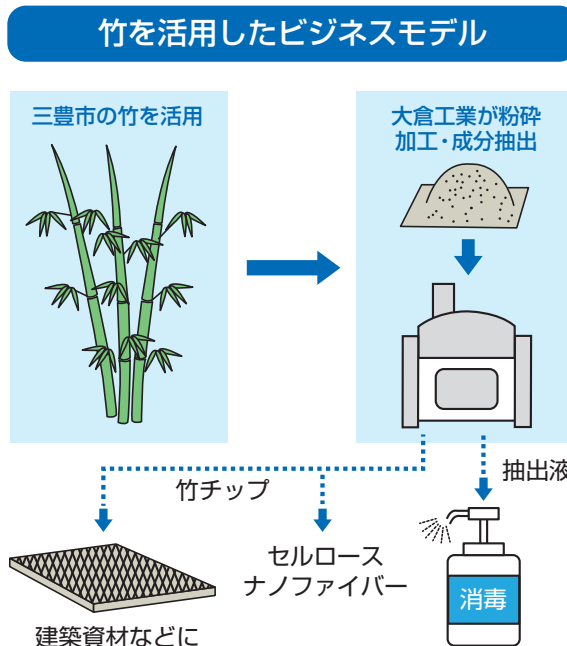
竹資源の多段階的な利用に向けて(建材事業部)

当社では、国立研究開発法人 森林総合研究所が代表提案者である竹資源の有効活用に関する研究事業について、日本かおり研究所株式会社(株式会社エステーグループ会社)とともに共同提案者として参画しております。

本研究事業では、森林総合研究所らが開発した革新的な設備・方法を用いて、竹材から有用な成分を抽出して衛生材料等への利用を検討する一方で、当社では抽出後の竹材の残渣を活用した建材やこの残渣を由来とするセルロースナノファイバーの利用を研究します。

この革新的な試験設備は、放置竹林問題を抱え竹の資源化に取り組んでいる三豊市のアドバイスのもと、同市内に所在する建材事業部詫間工場内に設置する計画です。

当社では、この研究事業を通じて、竹資源の多段階的な利用に一定の可能性を見出すとともに、近年の放置竹林問題の一つの解決モデルを提案できるよう推進してまいります。



第2四半期連結財務諸表

Point 1 資産合計

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比べ16億8千万円減少し871億3千1百万円となりました。主な特徴は、売上の減少にともない受取手形及び売掛金が25億4千4百万円減少したこと、保有株式の含み益の増加にともない投資有価証券が12億5千5百万円増加したことです。

Point 2 負債合計

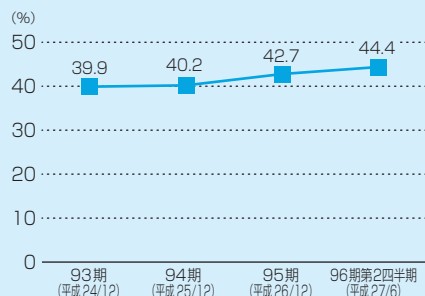
当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ24億1千6百万円減少し484億3千7百万円となりました。主な特徴は、仕入の減少にともない支払手形及び買掛金が28億2千1百万円減少したこと、1年内返済予定の長期借入金の長期での借替にともなう入り繰りが46億5千万円あったことです。

Point 3 純資産合計

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、その他有価証券評価差額金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ7億3千6百万円増加し、386億9千4百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて1.7ポイント上昇し、44.4%となりました。

■ 自己資本比率の推移



四半期連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科目	95期末 平成26年12月31日現在	96期第2四半期末 平成27年6月30日現在
資産の部		
流動資産	42,823	40,812
現金及び預金	6,739	7,166
受取手形及び売掛金	26,570	24,026
その他	9,512	9,619
固定資産	45,988	46,319
有形固定資産	36,165	35,282
無形固定資産及び投資その他	9,822	11,036
1 資産合計	88,811	87,131
負債の部		
流動負債	41,950	35,008
固定負債	8,902	13,428
2 負債合計	50,853	48,437
純資産の部		
株主資本	35,637	35,383
資本金	8,619	8,619
資本剰余金	9,068	9,068
利益剰余金	18,775	18,524
自己株式	△825	△829
その他の包括利益累計額	2,320	3,311
3 純資産合計	37,957	38,694
負債純資産合計	88,811	87,131

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科 目	95期第2四半期(累計) 平成26年1月1日から 平成26年6月30日まで	96期第2四半期(累計) 平成27年1月1日から 平成27年6月30日まで
売上高	44,705	41,878
売上原価	38,834	36,300
販売費及び一般管理費	4,532	4,396
営業利益	1,338	1,181
営業外収益	130	173
営業外費用	280	221
4 経常利益	1,188	1,134
特別利益	2	22
特別損失	203	60
税金等調整前四半期純利益	988	1,096
法人税、住民税及び事業税	161	300
法人税等調整額	161	43
四半期純利益	665	752

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨 (単位:百万円)

科 目	95期第2四半期(累計) 平成26年1月1日から 平成26年6月30日まで	96期第2四半期(累計) 平成27年1月1日から 平成27年6月30日まで
5 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,349	2,331
6 投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,001	△1,532
7 財務活動によるキャッシュ・フロー	955	△375
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13	3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△709	426
現金及び現金同等物の期首残高	7,838	6,739
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,128	7,166

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

Point 4 経常利益

合成樹脂事業が増益、建材事業が営業黒字化したものの、新規材料事業における新工場の立ち上げ費用の増加などにより、営業利益は11億8千1百万円(前年同四半期比11.7%減)、経常利益は11億3千4百万円(前年同四半期比4.6%減)となりました。

Point 5 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により増加した資金は23億3千1百万円(前年同四半期は13億4千9百万円の増加)となりました。主な内容は減価償却費20億8千5百万円、売上債権の減少額25億4千4百万円、税金等調整前四半期純利益10億9千6百万円による資金の増加と、仕入債務の減少額28億2千万円による資金の減少であります。

Point 6 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果減少した資金は15億3千2百万円(前年同四半期は30億1百万円の減少)となりました。これは主に合成樹脂事業及び新規材料事業における製造設備などの有形固定資産の取得による資金の減少であります。

Point 7 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果減少した資金は3億7千5百万円(前年同四半期は9億5千5百万円の増加)となりました。主な内容は配当金の支払い4億4千4百万円、リース債務の返済3億5千7百万円による資金の減少と、短期借入金の純増加額4億4千5百万円による資金の増加であります。

大倉工業グループ会社である関西オークラ、オークラプレカットシステムの2社に新社長が就任しました。新社長2人の抱負を紹介します。



株式会社 関西オークラ 代表取締役社長 ソゴウ ヨシテル 十川 義輝

関西オークラの工場は、昭和46年、滋賀県東近江市(当時八日市市)の土地に大倉工業合成樹脂部門の工場として操業開始、その後平成19年に株式会社関西オークラとなりましたが、44年間、コモディティ、LDPEシュリンク製品の基幹工場としての確固たる地位を築いてきました。昨年、新工場が建設されたことで、今後、更なる飛躍と、より一層大きな責任と役割を果たしていかなければなりません。今回、社長に就任するにあたり、改めて責任の重さを痛感するとともに身の引き締まる思いであります。

ものづくりの環境は十分に整いました。あと残すは、お客様にいかに喜んで多く買っていただけるかです。「安定供給」、「安定した品質」、「リーズナブルなプライス」そして「迅速な対応」にてお客様の信頼を勝ち取り、拡販につなげていきたいと考えております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



株式会社 オークラプレカットシステム 代表取締役社長 サイトウ カズオ 齊藤 雅津雄

当社は主に木造建築の構造躯体を加工するプレカットメーカーであります。最近では木組みによる在来軸組工法に加え、より優れた耐震・制震性能を有する金物工法の加工にも積極展開しております。

大倉工業グループの一員として分社化しましてから早いもので6年余りが経ちました。幸いにも県内および隣接県のビルダー様や工務店様をはじめ、多くのお客様に恵まれたおかげで、順調に売上高を伸ばすことができました。

家づくりは「一生に一度か二度の大きな買い物」とも言われますが、無理なく我が家が持てることとされるローコスト住宅を望まれる方もあれば、こだわり抜いた高品位の創作住宅を志向される方もあり、そうしたニーズは益々多様化しつつあります。

我々は建物に最も重要な骨組みづくりを担うことに誇りを持ちつつ、木の命を住まいの命に繋げる永住品質をお届けすることで、安心・安全な家づくりに寄与したいという情熱を胸に秘め、これからも果敢にチャレンジしてまいります。

会社概要

(平成27年6月30日現在)

社 名 大倉工業株式会社
 設 立 昭和22年7月11日
 資 本 金 8,619,616,071円

業務内容

- 各種ポリエチレン製品及びポリプロピレン製品の製造販売
- 光学機能性フィルム等の製造販売
- 加工合板、パーティクルボード及び加工ボード等の製造販売

役員

(平成27年6月30日現在)

代表取締役社長	高 濱 和 則
代表取締役常務取締役	長 尾 和 任
代表取締役常務取締役	豊 田 員 史
取 締 役	田 中 祥 友
取 締 役	神 田 進
取 締 役	山 田 和 裕
取 締 役	上 原 英 幹
取 締 役	馬 場 俊 夫
常 勤 監 査 役	行 天 武
監 査 役	眞 鍋 清
監 査 役	酒 井 基 行

(注)取締役 馬場俊夫氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であり、監査役 眞鍋清、酒井基行の両氏は会社法第2条第16号及び第335条第3項に定める社外監査役であります。

株主の状況

(平成27年6月30日現在)

発行可能株式総数 140,108,000株
 発行済株式の総数 62,074,351株
 株主数 6,272名

大株主(上位10位)

(平成27年6月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
住友化学株式会社	4,818	8.08
株式会社中国銀行	2,911	4.88
オークラ共栄会	2,392	4.01
株式会社百十四銀行	1,920	3.22
日本生命保険相互会社	1,875	3.14
住友林業株式会社	1,579	2.65
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	1,487	2.49
三井住友海上 火災保険株式会社	1,358	2.28
JSR株式会社	1,317	2.21
大倉工業従業員持株会	1,299	2.18

(注)当社は自己株式2,426,447株を所有しておりますが、上記大株主から除いております。また持株比率は自己株式を控除して計算しております。

決算期	毎年12月31日
定時株主総会	毎年3月
株主確定基準日	定時株主総会 12月31日 (その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。) 剰余金の配当 期末配当 12月31日 中間配当を行う場合 6月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告の方法	電子公告とし、当社ホームページ(http://www.okr-ind.co.jp)に掲載いたします。ただし電子公告によることのできない事故やその他のやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京証券取引所市場第1部

住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。



<http://www.okr-ind.co.jp>

当社ホームページでも、最新のIR情報をご案内しております。

